



令和七年 元旦

株式会社ひかり造園

代表取締役社長 櫻井孝夫



2025年頭のご挨拶



謹んで

新春のお慶びを

申し上げます



輝かしい新年の幕開けにあたり、
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
旧年中も弊社に格別のお引き立てを賜り、
心より厚く御礼申し上げます。
元旦早々、「石川・能登地震」という、
衝撃的な幕開けを迎えた昨年令和6年
(2024年)は、まさしく例年にも
増す激動の1年だった様に思います。

そんな中でも、MLB史上初めて50本塁打&50盗塁達成という歴史的
快挙達成で、私たち日本国民のみならず、世界中のファンを例年にも増して
熱く魅了した大谷翔平選手や、京都清水寺で毎年開催される、漢字一文字で
世相を表す年末恒例行事で5度目の選出となった「金」の元ともなった
第33回夏季パリ五輪で、海外開催の夏季五輪では過去最多となる、金メダル
20個を含む計45個ものメダルを獲得した、日本選手団の目を見張る活躍
等、昨年も日本が世界に誇るスポーツ選手達が、例年にも増して日本中を
元気づけてくれた一年でした。また政治・経済の世界に目を移すと、20年
ぶりに新紙幣が発行されたり、衆院選与党過半数割れの中「石破内閣」が
発足し、良くも悪くもようやく新時代の幕開けを迎えた年でした。

この様な中で、造園業界の新年に目を向けると、時間外労働の上限規制適用
に伴う働き方改革の推進や、人口減少や高齢化に伴う人手不足の解消など、
決して楽観できない展望ですが、弊社は例年通り終始一貫、決して奇をてらう
ことなく、『緑』を造り育てることを通じて、豊かな景観・環境を創り、守る
事を社会的使命とし、本来の緑地管理業務、並びに造園工事業務に加え、
「空家等対策に関する協定書」に基づいた、空き家状態になっている庭の手入れ
のお手伝い、未来形成に繋がるこの種の環境活動には、本年も一層積極的に
携わって参る所存ですので、皆様本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

